

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2437回 例会
平成24年3月2日(金)
天候 雨
合唱 君が代
それこそロータリー
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25
中川方 TEL/FAX 0465(62)3056
例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

もう3月に入りあと3分の1となりました。これまで副会長の常盤さんをはじめ会員皆様方のご協力に感謝を申し上げるとともに50周年の行事により一層のご協力をお願い致します。

例会の前に定例理事会が開かれましたのでその報告をさせていただきます。

1. 50周年記念の件について

高杉実行委員長から報告があり大枠は決まりこれから細部に入るとの事。

2. 次年度IMについて

次年度会長幹事会が開かれ山本次年度会長からIMの開催日はH25年1月23日(水)。会場は湯河原。IMは今年度と同じくIM合同例会とすることに決まった。

以上会長挨拶終わりです。

幹事報告

ガバナー

1. 地区協議会開催

4月22日(日) 湘南工科大学

登録 11:30~12:30

点鐘 12:30 登録〆切 3/19

2. 社会奉仕活動についてのアンケート

結果の報告

スマイルBOX

杉山茂久君 会員誕生日 3/6

深澤昌光君 結婚記念日 3/2

50周年記念式典

高杉尚男君

メインの記念事業のモニュメントの除幕式を6/15日(金)、その日は移動例会を予定しております。

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名		
	会員 26名	欠席 5(2)名	出席率 87.50%
	前回の修正出席率 91.30%		前々回の修正出席率 100%

歯周病の症状は、歯周病菌に対する免疫系が歯肉部分で過剰反応することで悪化していきます。通常、免疫反応は、身体を守るために働くのですが、歯周病細菌が歯肉に刺激を与え続けると、歯周組織のマクロファージやリンパ球が産生するのは酵素類やサイトカイン類などが、局所（歯肉）に蓄積します。酵素類はコラーゲン繊維などを切断・溶解する作用を持っています。

サイトカイン類は多彩な整理活動を示す炎症性サイトカインと呼ばれるたんぱく質です。これらは血液中に入って色々な全身疾患に悪影響を及ぼします。

最近の研究では糖尿病、心臓血管病、低体重児出産・早産などが歯周病に関連する疾患とされています。

また、肺炎、骨粗鬆症、腎炎、関節炎、発熱などへの関連も疑われています。しかしながら、このことに関する研究成果や発表の多くは米国の大掛かりな疫学研究が拠りどころとなっており、日本では確証となる介入研究はまだ不足気味です。

低体重児出産や早産と歯周病は、疫学では、関連があることは分かっていますがどうして、歯周病が出産に影響を及ぼすのかのメカニズムは、はっきりとしていません。

これなでの動物を用いた研究成果などからは、歯周組織が慢性炎症状態にある時につくられる生理活性物質が、血流を介して膣炎の時に起こるのと同じように子宮収縮と子宮頸部の拡張を引き起こすことで早産となるものと考えられています。したがって妊娠中に歯周病にかかった歯周組織から出てくる生理活性物質は、出産に負の影響を及ぼしていると考えする必要があります。このことから、母親が歯周病にかかっていると低体重児出産や早産を起こすリスクが高くなるのです。

最近の米国の疫学研究によって、歯周病は心疾患を引き起こす危険因子の一つであることがはっきりしてきました。関係がある心疾患は、心内膜炎と虚血性心疾患いわゆる狭心症や、心筋梗塞です。もともと心臓弁や心内膜壁に障害がある人は歯周病細菌が血流を介して定着し、細菌性心内膜炎を起こすことがあります。

最近では、虚血性心疾患との関係のほうが目立っています。

心臓の筋肉に酸素を供給しているのは冠状動脈ですが、それが狭くなって起こる心臓病が心筋梗塞と狭心症で、まとめて虚血性心疾患といえます。

歯周病菌の内毒素に対抗して防御のために免疫細胞が働くと、炎症性サイトカインなどが血流を介して心筋血管壁に作用します。その結果、酸化ストレスが増加することで血管そのものを変性させます。

ある種の歯周病菌が持っている血小板凝固因子が直接心臓冠状動脈血管に血栓を形成するよう働いて血管腔を狭めます。

高齢者に限らず、脳卒中の既往のある人は、肺炎で死亡することが多いことに着目し、その関係を調べた研究があります。脳梗塞の起こしやすい部位の脳基底核に障害があると、この部位から賛成されるドーパミンが少なくなります。その結果、迷走神経から咽頭や気管に放出されるサブスタンスPと呼ばれる物質が減少します。そのため嚥下反射などが弱くなり口腔内の細菌を誤嚥することになり、肺炎を起こしやすくなります。歯周病菌は肺炎の原因となるものが多いので高齢、痴呆、被介護、脳血管障害、手術後など身体の防御機能が低下したときには特に気をつけたいものです。